『ひらかた』を30議員が

６月定例月議会では、６月19日・22日・23日・24日の４日間にわたって一般質問が行われ、30人の議員が本市の抱える諸課題について、市の考えをただしました。質問の内容については、各議員が項目を選定の上、要約して掲載しています（そのため、実際の発言口調とは異なる場合があります）。

３日目（6月23日）

動画はこちら！

①松本佑介　②小池晶子　③広瀬ひとみ　④東　実名子　⑤野村生代　⑥佐田あゆ美　⑦峠　賢一　⑧八尾善之

公園内に大きな屋根設置の予定は

自由民主党・無所属の会　松本佑介

議員　車塚公園に設置のパラソルでは、陰が真下に来ないため、大きな屋根が必要だと意見してきた。今回予算計上されたが、市内公園への設置予定を聞く。

部長　車塚公園及び王仁公園に日差しを遮るパーゴラを整備する予定である。また、楠葉中央公園の大屋根設置に向け、実施設計を順次進めている。

議員　本市は不祥事が多数発生しているが、事後対応が課題と考える。内部統制制度の取組を聞く。

部長　リスク発生時には、原因究明を徹底し、リスク評価シートを見直している。また、発生リスクを全庁に周知することで、問題意識の共有や改善策に係る意見交換等を促し、意識醸成につなげていく。

要望等　同制度は、不祥事の再発防止だけでなく、迅速かつ適切な報告を根づかせ、初動対応を誤らせないという目的もある。現場の負担や市民の不快感の減少にもつながる効果も理解すべきである。

不祥事対応　適時適切な報告を徹底　初動対応の改善を

子どもの声を中心に社会的養護体制の構築を

子どもの権利擁護　大阪維新の会 枚方市議会議員団　小池晶子

議員　４月に児童養護施設が開設され、児童相談所設置も控える中、子どもアドボカシー（＊４）の体制整備の状況を聞く。

部長　児童相談所設置に向け、パーマネンシー保障（＊５）を実現するべく、子どもの意見聴取や意見表明等支援などの在り方の検討を進めている。

要望等　子どもの声を中心に据え、関係機関が連携した切れ目のない社会的養護体制を構築するよう求める。

市民サービス向上へ　職場環境の改善を

議員　快適な職場環境は、職員の業務効率を高め、ひいては市民サービスの向上につながる。以前から求めてきた、古い事務椅子の更新や、カスタマーハラスメント対策の録音機設置の状況を聞く。

部長　事務椅子は順次更新を進め、録音機は保有台数の最適化に取り組む。

要望等　職員のウェルビーイング（＊６）が向上し、働き続けたいと思われる自治体となるよう、さらなる環境改善を求める。

給食や教材費など本市独自の無償化を

中学生への経済的支援　日本共産党議員団　広瀬ひとみ

議員　中学校給食の全員喫食に向け整備を進めているが、全員喫食化は無償化とセットでなければ保護者の新たな負担になる。近隣自治体は既にどちらも実施しており、全国ではさらに教材費などの無償化を進める自治体もある。本市でこれらの取組を進める考えはないのか、市長に見解を聞く。

市長　本市独自の無償化は、市民ニーズを踏まえ、他の子育て支援施策とのバランスや優先順位、財政状況などを総合的に勘案し検討する必要がある。まずは、国の責任で無償化が推進されるよう、引き続き要望していく。

要望等　本市における中学生に対する経済的支援は乏しい。国の取組を待つだけでなく、市独自の無償化を検討するとともに、市リサイクルセンターを活用した制服リサイクルなど、負担軽減につながる取組を求める。

◆その他の質問

○牧野長尾・長尾京田辺線の交差点に信号機を

○バス停の上屋やベンチ、設置目標や支援制度を

存在意義の変化も踏まえ今後の在り方の検討を

王仁公園プール　公明党議員団　東　実名子

議員　王仁公園プールで漏水があり、８年度は営業中止となった。市民にとって夏場の貴重なレジャー施設であるが、再開へのスケジュールを聞く。

部長　９年４月末までに修繕工事が完了するよう、対応を検討している。９年度のプール再開に向け、着実に進めていく。

要望等　開設から50年以上がたち、老朽化は否めず、存在意義等も変化しているため、今後の在り方を含めた検討を求める。

食化　非喫食児童にも　小学校給食費　無償　恩恵が行き届く制度を

議員　小学校給食が無償化されている中、食物アレルギー等で給食を喫食できない児童の家庭には支援が届いていない。給食費相当額の補助金など、対応が必要ではないか。

部長　給食費相当額を補助する手法も含め、支援の在り方を検討している。

要望等　学校給食無償化の目的が子育て世帯の経済的負担軽減にあるならば、その恩恵が非喫食児童の家庭にも行き届く制度となるよう求める。

子ども、若者との対話によるまちづくりを

連合市民の会　野村生代

議員　法人や団体との共創によるまちづくりは重要だが、まちづくりの主役は市民である。特に、次の時代を担う子ども、若者の声を聴き、対話をすることで、施策に反映していくことも必要と考える。子どものときに市政に関わり成果が出る経験は忘れられないものとなり、市への愛着を生むことにもつながるのではないか。市民との対話によるまちづくりへの市長の考えを聞く。

市長　市政に対し、市民から意見を聴くことは重要と認識しており、次期総合計画（＊７）の策定に当たり、子ども、若者アンケートを通じて意見聴取を行うなど、様々な機会を通して未来のまちづくりに取り組んでいる。

要望等　多様な世代の意見を率直に聴き、誰一人取り残さない子どもの笑顔があふれるまちづくりに取り組むよう求める。

◆その他の質問

○「子ども主体」を明示する子どもの権利条例を

○共同親権者が進路で対立なら子の意向優先で

＊６　ウェルビーイング（Well-being）…身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念で、人々の満足度や充実、幸せなどを表すもの。

＊７　総合計画…目指すまちの将来像等を示す基本構想と、その具体化を図る施策や取組を定めた基本計画により構成される市の最上位計画のこと。

＊８　経常収支比率…財政構造の弾力性を判断するための指標で、地方税、普通交付税など、使途の特定がなく、毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費、公債費など、毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）が占める割合のこと。この比率が低いほど、財政構造に弾力性があり様々なニーズに対応して政策的経費に充当できる財源が多くあることを示している。

＊９　スマートシュリンク…人口減少を前提に都市機能や行政サービスを賢く集約、効率化し、住民の生活の質を維持、向上させるまちづくりの考え方のこと。

本市の持続可能な発展へ

財政運営の強化と経常収支比率の改善を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　佐田あゆ美

議員　本市の財政状況を示す経常収支比率（＊８）は府内中核市で２番目に高い98・９％であり、改善が必要だが見解を聞く。

部長　市債残高の抑制を図り、公債費縮減に取り組むとともに、公共施設マネジメントを推進し、施設総量の最適化を行う。

要望等　将来にわたり持続可能な発展を実現するため、中長期的な財政運営の強化と、経常収支比率の改善に向けた取組を着実に進めるよう求める。

様々な機関と連携し認知症施策の推進を

議員　認知症の発症や進行を遅らせる研究が進む中、早期発見と予防への取組の重要性が高まっているが、市の取組を聞く。

部長　脳の健康度測定の実施やこころとからだ生き生き教室の開催など、認知症予防と早期発見・対応の推進に努めている。

要望等　大阪精神医療センターをはじめとした医療機関や、介護、福祉、地域、研究機関等との連携を強化し、認知症施策の総合力向上を求める。

御殿山小倉線整備　地域住民の声を聴き安全確保を最優先に

公明党議員団　一原明美

議員　整備中の御殿山小倉線は将来的に交通量が一日当たり約７１００台となり、変則的な交差点の発生や通学路としての利用が想定されるという。信号機設置等の安全対策をどう検討するのか。

部長　信号機設置等の安全対策について警察と協議しながら検討していく。

要望等　地域住民の声を聴き、安心して通行、横断ができるよう、安全性の確保を最優先に整備を進めるよう求める。

認知症施策　脳の健康度測定　市内各所で集団実施を

議員　認知症早期発見への取組として要望し、実施されたデジタルツール「のうＫＮＯＷ」による脳の健康度測定について、成果と今後の展開を聞く。

部長　市医師会や地域包括支援センターとの連携により、認知機能の低下に不安を感じる人への相談体制や予防教室につなぐ体制を構築できた。９年度も効果的で効率的な方法を検討し、実施する。

要望等　集団測定の市内各所での実施を求める。

深谷ポンプ場　早期の耐震化と排水路等の老朽化対策を

公明党議員団　峠　賢一

議員　南中振周辺地域の排水を担う深谷ポンプ場の耐震化は、寝屋川市との調整が必要というが、経過と今後の取組を聞く。

部長　寝屋川市との協定に基づき、同市が維持管理を行い、本市は負担割合に応じた額を負担している。事業債の時限措置期間内での耐震化に向け、引き続き協議を行う。

要望等　早期の耐震化と、深谷排水路等の老朽化対策も併せて求める。

振線　中新香里　用地取得を待たず　現道内で可能な対策を

議員　通学・通勤路である中振新香里線の歩道拡幅事業の進捗を聞く。また、歩道の段差等で高齢者の転倒が発生している府道八尾枚方線付近の安全確保について聞く。

部長　北中振１丁目付近の延長約80メートル区間は拡幅が完了し、隣接約70メートル区間の用地取得に向けた調査を進める。八尾枚方線付近は、段階的に安全な通行空間の確保に取り組む。

要望等　用地取得を待つだけでなく、早急に現道内で可能な対策を求める。

公共交通　継続的かつ安定的な人材確保への支援を

連合市民の会　八尾善之

議員　９年３月の北部地域のバス路線廃止に向け代替交通の検討が進められている。自家用有償旅客運送、いわゆる白ナンバーの運行とする場合に、セカンドキャリア人材等の活用が示されたが、公共交通の安定的な運行は、短時間勤務やシフト制での人材活用だけでは不可能と考える。市が想定する人材の具体像と、その継続的かつ安定的確保の見通しを聞く。また、公共交通従事者確保への投資として、若年層への魅力発信や将来の担い手育成など、人材確保策を講じる考えはあるのか。

部長　セカンドキャリア人材はバスやタクシー運転経験者、自衛隊や消防隊員など大型免許保持者を対象とし、事業者協力型自家用有償旅客運送制度の委託先となる交通事業者と連携した人材確保を想定している。また、総合交通計画の重点施策にも掲げている公共交通従事者の確保に向け、関係者と連携した取組を強化し、市独自の施策についても検討していく。

長尾地域のまちづくり継続的な支援を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　高野寿陛

議員　長尾地域のまちづくりでは、事業協力者提案の土地利用計画に対応する道路拡幅や、都市計画道路の指定への継続的な支援を求めてきた。８年度当初予算に業務委託料を計上しているが、市の支援内容を聞く。

部長　府などの関係機関と連携し、府道交野久御山線の都市計画決定に向けた協議を行うとともに、道路の概略設計を委託業務として実施するなど、継続支援を行っていく。

保育士の確保・定着支援　補助金の制度内容は

議員　少子化等により、全国的に働き手不足が進む中、保育士の成り手不足が深刻な問題となっている。本市の取組の一つである保育士等確保定着支援事業補助金について、その制度内容を聞く。

部長　職場定着に主眼を置いた制度運用としており、市内の私立保育所等で勤務する常勤かつ無期雇用の保育士等に対して月額１万円、年間最大12万円を雇用継続の間、各施設を通じて支給している。

４日目（6月24日）

動画はこちら！

①門川紘幸　②藤田幸久　③鍛治谷知宏　④一原明美　⑤高野寿陛　⑥岡市栄次郎　⑦漆原周義

総合文化芸術センター　さらなる魅力向上へ周辺エリアとの連携を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　門川紘幸

議員　開館５周年を迎える総合文化芸術センターは、ホール機能や設備の充実から、旧市民会館より使用料等が高くなっている。また、施設の高級感により、市民との距離感が遠くなっていないか。

部長　利用しづらくなった等の意見はなく、市民総合文化祭も多数の市民が参加し、好評である。

要望等　枚方市駅周辺のにぎわい創出の拠点として、周辺エリアと連携した企画等により、今後も施設の魅力向上を求める。

施設を新設する際は部署を越えた課題検討を

議員　中央図書館に隣接する車塚公園に大型遊具が設置され大変人気だが、周辺環境への影響を聞く。

部長　設置当初は併設の駐車場が混雑したが、誘導員の配置見直し等で改善を図った。

部長　図書館利用者から、周辺駐車場が満車で利用できないとの声もある。

要望等　施設設置の際は、まちの設計という全体的な観点で、部署を越えた課題の検討を求める。

多汗症　小・中学校における実態把握と対応状況は

公明党議員団　藤田幸久

議員　多汗症は、気温が低い状況等でも大量に発汗し、日常生活に支障を来すだけでなく、心理的負担や対人関係の悩みにつながることがあるという。小・中学校での実態把握と対応の状況を聞く。

部長　健康管理個人票等を用いた保健調査や、懇談等で把握に努めているが、相談しにくい傾向があり、実態を十分に把握しにくい。テストの際にハンカチの使用を認める等、学習や学校生活に支障が出ないよう対応している。

犯罪被害者等への支援　一日でも早い拡充を

議員　国は、８年度に第５次犯罪被害者等基本計画を策定したが、本市における今後の対応を聞く。

部長　同計画を基に、府の犯罪被害者等支援に関する指針が改定される見込みであるため、国や府の動向を注視しながら、犯罪被害者に寄り添った支援方法を検討していく。

要望等　他自治体にも劣らない、犯罪被害者への支援拡充の一日でも早い実施を求める。

スマートシュリンク　人口減少時代を踏まえ次期総合計画に反映を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　鍛治谷知宏

議員　次期総合計画（＊７）策定においては、人口減少時代を踏まえ、都市間競争中心の考えから転換し、広域連携やコンパクトシティを含むスマートシュリンク（＊９）に重点を置く必要がある。今後のまちづくりの考えを聞く。

部長　同計画は、将来人口推計等から未来のまちの姿を見定め策定する。スマートシュリンクの考え方も参考にし、持続可能な行財政運営と市民サービス向上の両立を図る観点で検討を進める。

将来的なビジョンの下　公共施設再編を

議員　学校規模適正化における学校再編に当たっては、地域コミュニティーの在り方や跡地活用など、地域の将来的なまちづくりの方向性を踏まえた上で議論を進めることが不可欠だが、見解を聞く。

市長　公共施設の再編と地域の活性化の両立に向け全庁的に取り組む。

要望等　施設削減ありきではなく、市のビジョンを市民に示し公共施設再編を進めるよう求める。

観光振興　地域資源を結びつけ地域経済の活性化を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　岡市栄次郎

議員　人、物、お金を地域内で循環させる観光は、地域経済を支える成長戦略である。枚方宿地区や枚方市駅周辺にとどまらず市内全域へ人の流れを広げ、滞在時間延伸や消費機会創出につなげる取組が重要だが、見解を聞く。

部長　地域資源をつなぎ合わせたツアーを造成し、周遊促進等の取組を展開している。今後も、宿泊施設や地域事業者との連携をさらに強化し、地域経済の活性化につなげる。

穂谷川清掃工場跡地を新たな魅力創出拠点に

議員　穂谷川清掃工場跡地及び隣接する交北公園は、本市に残された数少ない大規模な公共空間である。人が集い交流する、地域価値が高いものへと転換していく視点が必要と考えるが、見解を聞く。

市長　財源確保や公民連携によるにぎわい創出等、多角的視点で、穂谷川清掃工場跡地活用の基本的な考え方に基づき検討する。

要望等　既存資産を最大限活用した新たな魅力創出拠点への検討を求める。

命を守る政治の会　犯罪被害者等への支援条例制定による強化を

命を守る政治の会　漆原周義

議員　近年、若年層による事件が凶悪化する中、薬物使用等により心神喪失に陥った加害者側が刑事責任を問われず、また加害者側の支払い能力などの事情により、被害者に対して十分な損害賠償がなされないなどの事案もある。被害者に対し支援の手を差し伸べることは急務であり、犯罪被害者等の支援を目的とした条例を本市でも制定し、金銭面を含めた支援を強化すべきと考えるが、市の見解を聞く。

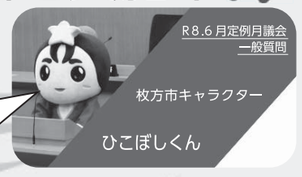
部長　犯罪被害者への支援として、人権なんでも相談や専門的な支援員による対応等を行っているが、犯罪被害者の生活再建や精神的負担軽減の観点からも、支援の強化は極めて重要と認識している。今後、国や府の動向を注視するとともに、他自治体の支援内容の調査、研究に努め、条例の制定について検討していく。

◆その他の質問

○残骨灰に含まれる有価物売却に向けた検討を

○長尾北町、藤阪駅周辺地区も市街化区域に

本会議の生中継及び録画配信を実施中!!



いろりあのインタビュー動画は見てくれたかな？気になった一般質問の全編録画映像も見られるよ。

本会議の議案審議に関する録画映像は議題ごとにタイムスタンプをつけており、気になる審議をすぐに見ることができます。また、一般質問の録画映像は、議員ごとに編集をしています。

枚方市議会公式ユーチューブチャンネル▶▶▶

※　答弁者は、役職名（一部）を記載しています。例：▶部長…危機管理部長、土木部長、総合教育部長など　▶所長…福祉事務所長、保健所長　▶局長…市立ひらかた病院事務局長